

中学生年代のスポーツ指導の安全管理
-法的責任と事故補償について-

理解度チェック

第1問

国公立学校の部活動中の事故に関して、顧問教員（公務員）が、故意又は過失によって生徒らに損害を加えたときに、国や公共団体の賠償責任について規定されている法律名を答えて下さい。

- ① 公共賠償法
- ② 損害賠償法
- ③ 学校教育法
- ④ 国家賠償法

第2問

部活動などを指導する際に、学校や顧問教員は生徒の安全に気を配り、事故や怪我をしないようにする義務が生じます。この義務の名称を答えて下さい。

- ① 事故防止義務
- ② 安全配慮義務
- ③ 危険配慮義務
- ④ 学校責任義務

第3問

中学生年代のスポーツ指導全般において、指導者が生徒に加えた損害を学校法人や株式会社（スポーツクラブを経営する）などが賠償責任を負います。この民法715条で定められた責任を何というか答えて下さい。

- ① 使用者責任
- ② 経営者責任
- ③ 法人責任
- ④ 指導者責任

第4問

部活動中の死亡事故などでは、刑法211条によって「業務上必要な（ ）を怠り、よって人を死傷させた者は、5年以下の懲役もしくは禁固又は100万円以下の罰金に処する」と定められています。（ ）に入る語句を答えて下さい。

- ① 指導
- ② 監督
- ③ 管理
- ④ 注意

第5問

労働災害などの事故に関する「ハインリッヒの法則」では、重大な事故1件の背後には、軽微な事故が（ ア ）件、事故ではないが「ヒヤリとしていたり、ハッとしていたりする危険な状態」が（ イ ）件も隠れているとしています。（ ア ）と（ イ ）に入る数字の組み合わせを選んで下さい。

- ① 4 : 5 0
- ② 2 9 : 3 0 0
- ③ 2 5 : 1 0 0
- ④ 2 0 0 : 4 0